
特集：徳島県の医療と教育：その現在と未来

断らない医療を目指すための人材育成

日 浅 芳 一

徳島赤十字病院院長

徳島赤十字病院の病院理念は「私たちは断らない医療を実践し、みなさまの健康と尊厳をお守りします」である。「断らない医療」は特に救急部門で要求される。当院では、夜間・休日は医師8名、看護師4名、事務職員4名、薬剤師、検査技師、放射線技師各1名の計19名がチームを作り診療を行っている。「断らない医療」を確実に実践するためにはシステムの整備とそれを担う人材の確保が必要不可欠である。

現在、当院には138名の常勤医が勤務している。そのうち、65名が卒後10年未満の若い医師である。このような若い医師を存在があって初めて救急現場での「断らない医療」が実践可能となる。当院では2004年4月新医師臨床研修制度開始とともに毎年10～12名の研修医を確保してきた。2年間の研修期間の間に、赤十字の基本理念である人道・博愛の精神に通じる「断らない医療」の実践を救急現場で習得させた。研修項目の中で夜間・休日の救急を内科や外科の研修と同様に一つの重要な必修科目と位置づけた。1年目の前半は救急の基本を看護師等からも学び、後半は主として内科疾患の救急患者、2年目の前半は外科の救急、後半は特殊な救急と段階的に研修できるプログラムを作成した。この期間になるべく多

くの救急患者を経験することにより、救急患者を診ることに対する心理的な抵抗感も軽減できたと考えている。

また、当院は2002年4月に全国に先駆けて新人看護師の臨床研修制度を導入した。1年間の研修期間中に各病棟、救命センター、手術室、ICU等を1～3ヵ月の間隔でローテーションする。これにより個別性を重視した看護過程が理解でき、1：1の指導ナースが付くことで看護実践能力の向上が図れ、自分の適性も確認できている。多くの困難と障壁を乗り越え、今や全国的な教育モデルとして確立された。現在までに249名の看護師がこの制度を終了し、9割以上が当院で引き続き看護職で働いている。

薬剤師の臨床研修制度も2012年4月から発足した。検査技師や放射線技師等のメディカル・スタッフも各種専門技師、認定技師の取得拡大に経費や勤務面で最大の援助を行っている。

当院で育ち、当院の病院文化を持つ医師や看護師達が人的中堅層を構成するようになった。彼らがまた次の世代を教育し、病院の理念である「断らない医療」を実践する担い手を作る体制ができてきている。